

令和6年度
シラバス

教科・科目	国語科・論理国語	単位数	2
-------	----------	-----	---

学年・クラス	3 学年（ 必修 ・選択）	担当者	秦 利幸
使用教科書	大修館書店 『新編 論理国語』		
使用副教材	浜島書店 『最新国語便覧〔改訂増補版〕』		

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の内容・進め方

授業の内容：教科書教材を用いて単元目標に沿った言語活動を実施し、言語能力の項目ごとの向上を図る。

進め方：教科書教材の読解を中心に言語活動を展開し、単元目標の言語能力の向上を図る。

適宜、課題や班活動に取り組むが、板書を中心に説明の理解に注力する時間もある。

なお、ノートは手書き以外の方法で取っても良いが、ICT機器の不適切な使用は認めない。

考 査：授業内の言語活動等を通して学習した国語力の向上を確認する。例えば、文章を要約する力を身につける単元を実施した場合には、課題本文を要約して読むことができるようになっているかを設問において確認する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	その場に応じた適切な語彙を判別したり、物事を表現する上で効果的な言葉の使い方を正確に理解し、使いこなしたりするなど、実社会で必要となる国語の基礎・基本的な知識や技能を身に付けている。	「読むこと」を通して論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、物事を創造的に考える力を養い、他者との関わりや、「書くこと」の活動の中で伝え合う力を高め、各領域の学びをもとに自身の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して主体的に他者や社会に関わろうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	定期考査（年2回）	◎	◎	△
	各単元における提出課題	○	◎	◎
	単元テスト等のまとめ課題	◎	◎	△
	授業中の様子	○	○	◎
	長期休業課題	○	○	◎

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる

B：おおむね満足できる

C：努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
前 期	4	1 自己を見つめて	・本文から筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、今後の人生について考える。 ・論理的思考に基づく自己分析を図り、なぜ論理的に考えることが重要なのか再度、理解を深める。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	文章の種類を踏まえた内容や構成、論理の展開等を的確に捉え、論点を明確にしながら文章そのものの要旨を的確に把握している。	筆者の考えを読み取ることに関心をもち、自らの論理的な思考力を伸ばせるように粘り強く取り組もうとしている。
	5	2 思考を深める	・根拠の吟味について理解する。 ・筆者の主張と、それを支える根拠の役割について、的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開について注意しつつ、要旨を把握する。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・文章の種類を踏まえた内容や構成、論理の展開等を的確に捉え、論点を明確にしながら文章そのものの要旨を的確に把握している。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	筆者の考えを読み取ることに関心をもち、主張と根拠との関係をよりの確に捉え、根拠の正当性について検討できるように、粘り強く取り組もうとしている。
	6	前期中間考査				
	7	3 社会に向かつて	・「論理的であること」を強く意識しながら、自身の進路実現に向けて必要とされる各種作文の作成に取り組む。 ・相互評価を通してより練度の高いものとなるようリライトを図る。 ※各進路希望に関する情報は各自で調べていることを前提とする。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・設定した題材について多様な資料を集め、情報を分かりやすく整理し、様々な観点から自分の意見や考えを論述している。 ・情報を吟味し、明確な立場や論点から主張を支える適切な根拠を揃えている。 ・多面・多角的な視点から根拠や論拠の吟味を重ねて主張を明確にしている。	進路実現に向けた各作文を書くことに関心を抱き、情報の適切な整理の仕方や効果的に文章化する方法を理解できるように、粘り強く取り組もうとしている。
	8					
	9	前期期末考査				

学 期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
後 期	10	4 視点を変えて	・対比や具体例の役割、根拠などに注意しながら論理の展開を掴むことで、筆者の主張を読み取る。 ・情報を比較したり整理したりする方法について再度考えを深める。 ・異なる立場から書かれた文章を比べて読み、考えを深める。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・情報をその重要度や抽象度などから階層化して整理することで、分析を深めたり、考えを多角的にしたりする方法について、理解を深めている。	・筆者の主張を支えている根拠や結論を導く論拠について批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味しつつ、内容を解釈している。 ・特定の資料について、様々な観点から、概要などをまとめている。	・複数の教材文を読み比べることに興味をもち、情報を的確に比較・整理することができるように、粘り強く取り組もうとしている。 ・各情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取れるよう粘り強く取り組もうとしている。
	11	5 問いを深めて書く—小論文② ・テーマ型小論文 ・課題文型小論文 ・データ型小論文	・自ら小論文の問いを立てる方法について理解する。 ・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。 ・反論を想定し、説得力のある文章を書く。 ・課題文の要旨を正確に理解し、自らの主張に活用した文章を書く。 ・統計資料を的確に読み取り、主張の根拠として活用する。	- 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 - 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。	- 文章の種類を踏まえながら、各資料と文章の内容との関係を把握し、そのまとめや筆者の主張、論理構造や文章そのものの構成などについての的確に捉えている。 ・情報を吟味し、明確な立場や論点から主張を支える適切な根拠をそろえている。 ・多面・多角的な視点から根拠や論拠の吟味を重ねて主張を明確にしている。 ・立場の異なる読み手から批判的に読まれることを想定し、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	- 筆者の考えを読み取ることに関心を持ち、文章と資料との関係をよりの的確に捉えられるように、粘り強く取り組もうとしている。 - 説得力のある文章を書くことに対して興味をもち、反論を想定しながら、適切な根拠を踏まえて自分の主張を展開することができるように、粘り強く取り組もうとしている。
	12	6 現代を考える	・本文から筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、現代社会の課題や自身の生活などについて話し合うことを通して考える。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえた内容や構成、論理の展開等を的確に捉え、論点を明確にしながら文章そのものの要旨を的確に把握している。	筆者の考えを読み取ることに関心を持ち、自らの論理的な思考力を伸ばせるように粘り強く取り組もうとしている。
後期中間考査						

1	7 未来に目を向けて	・本文から筆者の考えを読み取る。 ・本文を参考に、実生活の中から具体的にレポートのテーマを決め、問いを立てる。 ・適切な調査方法を検討するとともに、集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。 ・読者を意識して構成や記述に配慮し、全体的に読みやすく、記述内容が理解されやすいレポートを書く。	・筆者の主張と、その前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。	・実社会や、学術的な学習の基礎に関連する事柄について、書き手の立場や論点など様々な観点で情報を収集したり、整理したりした上で、目的や意図に応じて適切な題材を決めている。 ・情報を吟味し、明確な立場や論点から主張を支える適切な根拠をそろえている。 ・多面・多角的な視点から根拠や論拠の吟味を重ねて主張を明確にしている。 ・設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを分かりやすく整理して、様々な観点から自分の意見や考えを論述している。	・レポートを書くことに興味・関心を持ち、これまで学習してきたことを踏まえ、集めた情報を適切に整理するとともに、自分の主張をよりの確にレポートにまとめることができるよう、粘り強く取り組もうとしている。
---	------------	---	--	--	---